

平成28年度公立大学法人島根県立大学当初予算の概要

I 予算編成の考え方

公立大学法人島根県立大学は、平成19年度に3大学の統合により設立し、「島根県立大学憲章」に掲げる理念に従い教育研究の活性化及び地域貢献、国際交流等の推進に全学を挙げて取り組んできました。

平成28年度は、第2期中期計画期間（平成25年度～平成30年度）の4年目となり、計画期間の後半が開始する年であり、現計画の仕上げ・成果を強く意識した法人運営を進めていく必要があります。そして、並行して、次期中期計画に向けた準備に取りかかる時期にも位置付けられます。

一方で、法人運営の効率化を促す趣旨から平成28年度以後も引き続き運営費交付金の減額が継続される見込みであり、自律的な運営のための経費削減努力、効果的な事業執行、事務事業の見直し、自己財源の確保等はますます必要となっています。

このため、平成28年度予算案は、平成28年度計画の重点分野（①社会情勢の変化や地域ニーズに対応した大学改革、②地域と協働した社会貢献の推進、③学生確保、教育内容及び学生支援の充実強化、④国際交流、海外留学等の促進）を中心とする同年度計画の着実な実施に必要な事業に対し、重点的かつ効果的に措置することを基本方針として編成を行いました。

II 当初予算の概要

1. 事業費総額

事業費総額は、33億5百万円で、松江キャンパス四年制化事業費及び大規模修繕事業費等の増加に伴い前年度予算（31億39百万円）に比べ、5.3%増（1億65百万円増）となっています。

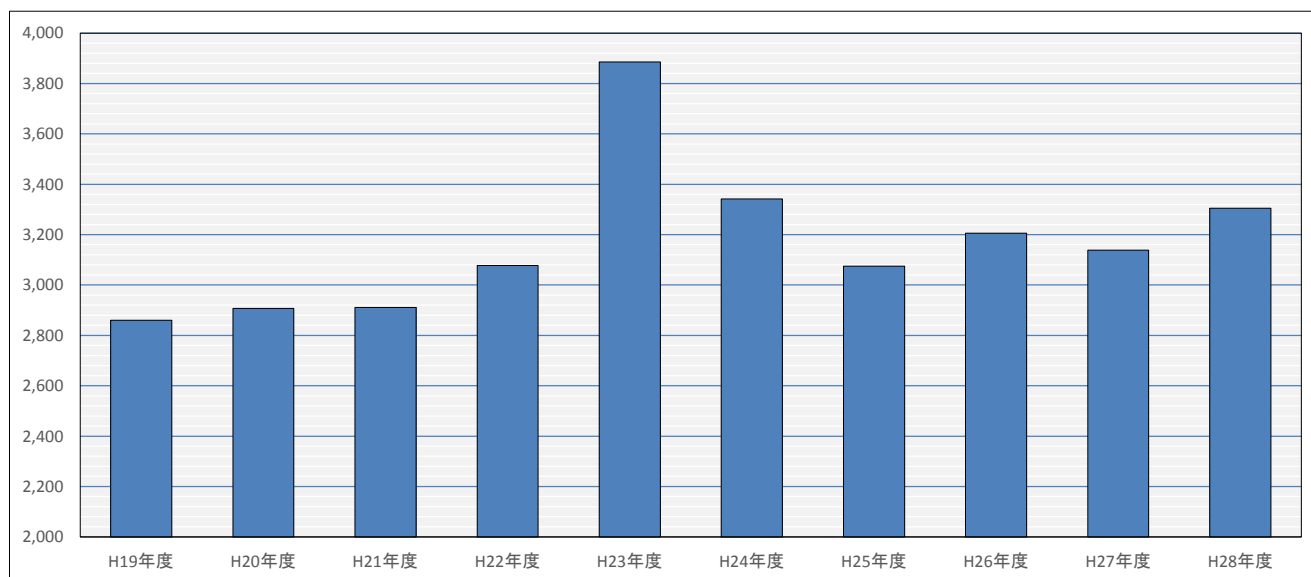
(単位:千円、%)

区 分	平成28年度当初	平成27年度当初	増 減	増減率
予算規模	3,304,580	3,139,477	165,103	5.3

【参考 当初予算規模の推移】

(単位:百万円)

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
2,860	2,907	2,911	3,077	3,885	3,342	3,075	3,206	3,139	3,305



2. 収入予算

(単位:千円、%)

区 分	平成28年度当初		平成27年度当初		増 減	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
運営費交付金(退手除)	1,747,776	52.9	1,746,690	55.6	1,086	0.1
学生納付金	1,070,044	32.4	1,062,735	33.8	7,309	0.7
県補助金(四大化除)	60,000	1.8	—	—	60,000	皆増
外部補助金等	73,079	2.2	95,664	3.0	▲22,585	▲23.6
寄附金	47,750	1.4	42,000	1.3	5,750	13.7
その他収入	75,281	2.3	76,775	2.4	▲1,494	▲1.9
計	3,073,930	93.0	3,023,864	96.3	50,066	1.7
運営費交付金(退手)	74,048	2.2	22,853	0.7	51,195	224.0
県補助金(四大化)	74,743	2.3	—	—	74,743	皆増
積立金取崩収入	81,859	2.5	93,000	3.0	▲11,141	▲12.0
合 計	3,304,580	100.0	3,139,717	100.0	164,863	5.3

○運営費交付金と学生納付金の合計で収入全体の85.3%を占めています。

○運営費交付金(退職手当除き)は、効率化(▲1.0%)、標準収入の見直し、人事委員会勧告を受けた給与改定等により、総額で1百万円増(+0.1%)となっています。

○学生納付金は、出雲キャンパス大学院及び認定看護師教育課程の開設等により、7百万円増(+0.7%)となっています。

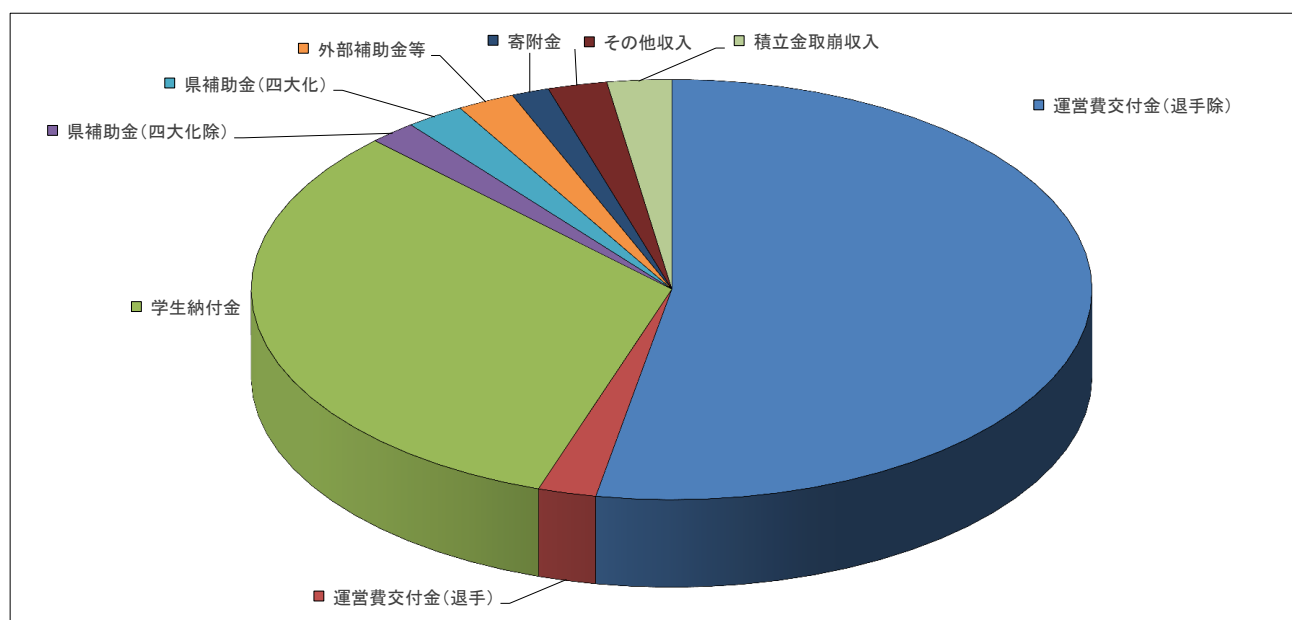
○県補助金(大規模修繕等の特殊要因経費に対し10/10補助)は、松江キャンパス四年制化事業費及び大規模修繕事業(浜田キャンパス電話交換機更新事業、出雲キャンパス学生寮外壁等改修事業)を計上しています。

○外部補助金等は、文部科学省教育関係補助金等を計上し、23百万円減(▲23.6%)となっています。

○寄附金は、島根県立大学未来ゆめ基金事業及び旧北東アジア学术交流財団寄附金事業、出雲キャンパス支援ネットワーク寄附事業に充てるための収入を計上し、6百万円増(13.7%)となっています。

○積立金取崩収入は、前中期目標期間繰越積立金を財源として実施する事業に充てるための収入として計上し、11百万円減(▲12.0%)となっています。

※目的積立金充当事業・・・教育向上、学生支援、研究支援、学生確保、業務改善、環境整備等に資する事業



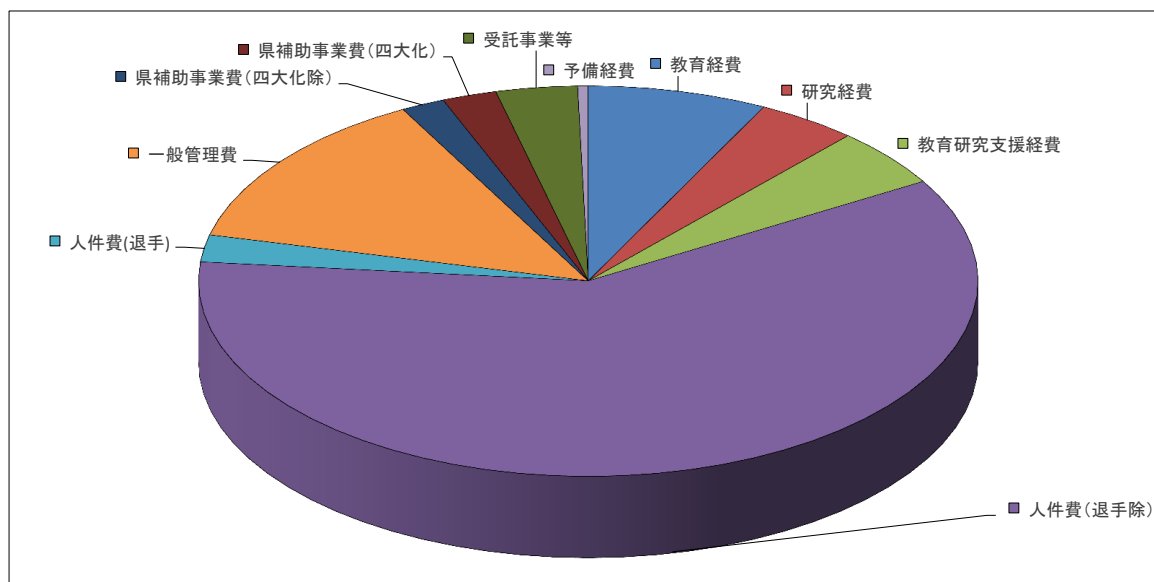
3. 支出予算

(単位:千円、%)

区 分	平成28年度当初		平成27年度当初		増 減	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
教育経費	246,049	7.4	255,039	8.1	▲8,990	▲3.5
研究経費	138,211	4.2	146,516	4.7	▲8,305	▲5.7
教育研究支援経費	160,359	4.9	180,746	5.8	▲20,387	▲11.3
人件費(退手除)	1,984,910	60.1	1,947,546	62.0	37,364	1.9
一般管理費	439,974	13.3	447,178	14.2	▲7,204	▲1.6
県補助事業費(四大化除)	60,000	1.8	—	—	60,000	皆増
受託事業等	111,831	3.4	129,669	4.1	▲17,838	▲13.8
予備経費	14,455	0.4	10,170	0.3	4,285	42.1
計	3,155,789	95.5	3,116,864	99.3	38,925	1.2
人件費(退手)	74,048	2.2	22,853	0.7	51,195	224.0
県補助事業(四大化)	74,743	2.3	—	—	74,743	皆増
合 計	3,304,580	100.0	3,139,717	100.0	164,863	5.3
特定財源支出除き	2,901,649		2,894,195		7,454	0.3

- 教育経費は、マイナスシーリングによる経費節減等により、9百万円の減を見込んでいます。
- 研究経費は、マイナスシーリングによる経費節減等により、8百万円の減を見込んでいます。
- 教育研究支援経費は、マイナスシーリングによる経費節減の他、情報システム保守管理経費の減等により、20百万円の減を見込んでいます。
- 人件費（退職手当を除く。）は、人事委員会勧告を受けた給与改定による増、昇給及び昇格に伴う増等により、37百万円の増を見込んでいます。
- 一般管理費は、マイナスシーリングによる経費節減等により、7百万円の減を見込んでいます。
- 県補助事業費は、県補助金を財源とした大規模修繕や松江キャンパス四年制化事業費（施設設備改修費及び準備経費）等の事業を計上しています。
- 受託事業等は、旧北東アジア地域学術交流財団寄附金事業費40百万円を計上し、認定看護師教育課程実施事業等の受託による増、文部科学省補助事業（大学間連携共同教育推進事業、地（知）の拠点整備事業等）の補助金交付額減等により、18百万円の減を見込んでいます。
- 予備経費は、年度途中の緊急的な支出に備えるため、14百万円を計上しています。
- 支出総額は、165百万円増（+5.3%）となっていますが、特定財源による支出を除くと29億2百万円で、前年度に比べ7百万円増（+0.3%）となっています。

※特定財源：運営費交付金(退手)、県補助金、外部補助金、受託研究等収入、旧NEAR寄附金、積立金取崩収入



4. 事業概要

重点分野

1. 社会情勢の変化や地域ニーズに対応した大学改革

- | | |
|--|-----------|
| (1) 松江キャンパス四年制化事業(法人本部)〈新規〉 | 74,743 千円 |
| ・松江キャンパス四年制大学化に向けた学部設置認可申請、既存校舎改修の設計等を行う。 | |
| (2) 大学院(看護学研究科)の運営経費(出雲C)〈新規〉 | 3,304 千円 |
| ・出雲キャンパスの大学院看護学研究科(H28年4月開設)の運営を行う。 | |
| (3) 認定看護師教育課程実施事業(出雲C)〈新規〉 | 27,342 千円 |
| ・出雲キャンパスの緩和ケア認定看護師教育課程(H28年6月開講)の運営を行う。 … (22,666千円) | |
| ・認定看護師教育課程の新たな分野での申請準備を行う。 … (4,676千円) | |
| (島根県からの受託事業) | |

2. 地域と協働した社会貢献の推進

地(知)の拠点整備事業(全C)〈継続〉 33,290 千円

- 平成25年度に文部科学省により国庫補助事業として採択された「地(知)の拠点整備事業」について、平成29年度までの事業期間の4年目として、計画に基づき、地域のニーズ(課題)と大学のシーズ(資源)のマッチング(=縁結び)、「しまね地域共生学入門」を出雲・松江キャンパスで、「地域共生演習」及び「地域課題総合理解」を浜田キャンパスで開講する他、松江キャンパスにおいて「履修証明プログラム」を開講する等、事業を着実に推進する。

3. 学生確保、教育内容及び学生支援の充実強化

- | | |
|---|-----------|
| (1) 授業料奨学制度(全C)〈継続〉 | 96,289 千円 |
| ・意欲ある学生への学修支援を行うために、経済的支援としての学修支援奨学金、入学時奨学金、成績優秀者奨学金等を学生に給付する。 | |
| (2) 公務員試験対策講座実施支援事業(浜田C)〈継続〉 | 2,312 千円 |
| ・試験対策専門講座の実施により、公務員試験合格をめざす学生の支援を行う。
※短期集中講座開講、チューター等謝金、WEB講座等受講料助成 | |
| (3) キャリア系授業科目の充実(浜田C)〈継続〉 | 1,959 千円 |
| ・キャリア形成I・II、インターンシップ入門等の学生のキャリア形成に資する講座を開講する。 | |
| (4) 在学生による母校訪問プロジェクト(全C)〈拡充〉 | 195 千円 |
| ・各キャンパスの在学生が夏季休講期間に母校(高校)の進路指導担当教員を訪問して、本学での学生生活について報告し、本学をPRする取組を実施する。 | |

4. 国際交流、海外留学等の促進

- | | |
|--|-----------|
| (1) 海外留学・海外研修等に係る奨学金(全C)〈継続〉 | 12,458 千円 |
| ・本学の特色である「国際的な視野を持った人材養成」実現のため、奨学金制度を継続・拡充し、学生の海外留学、海外研修等に対する支援の強化を図る。 | |
| ① 海外留学奨学金(浜田C) | |
| ・学長の許可を受けて協定留学(ダブルディグリー、交換留学、派遣留学)する学生に奨学金を支給する。
※(H27実績)12名 | |
| ② 海外研修奨学金等(全C) | |
| ・異文化理解研修、海外企業研修等に参加する学生に奨学金を支給する。
※(H27実績)94名 | |
| (2) 海外企業研修事業(浜田C)〈継続〉 | 3,480 千円 |
| ・グローバルに展開する企業への訪問、また学生との交流を通じて国際化の進む社会の様々な分野で活躍できる人材を育成する。 | |
| (3) JCSOS緊急事故支援システム加入(法人本部)〈継続〉 | 731 千円 |
| ・学生の海外派遣に係るサポート体制を強化するため、海外派遣中の緊急事態発生時に情報収集等のサービスを提供するNPO法人海外留学生安全対策協議会(JCSOS)に加入する。 | |

※重点分野に対応する主な事業を掲載

重点広報事業

(1) 法人広報誌作成(法人本部)〈継続〉	6,014 千円
<ul style="list-style-type: none"> 法人広報誌「オロリン」を定期的に発行し、地域へ大学情報をきめ細やかに発信する。 ※発行予定(年2回) ※印刷部数(43,000部) ※配布先(県、市町村、高等学校、保護者等) 	
(2) 受験生を対象にした広報の充実(法人本部)〈継続〉	3,365 千円
<ul style="list-style-type: none"> オープンキャンパスの参加者及び本学の受験者の増加に資する広報活動を実施する。 ※新聞広告(2回)、テレビCM放映(島根県内ほか中四国地域) 	
(3) 松江キャンパス四年制化特設ホームページ作成(法人本部)〈新規〉	486 千円
<ul style="list-style-type: none"> 大学ホームページ内に松江キャンパス四年制化に関する特設ページを開設し情報発信を行う。 	
(4) 広報スキルアップ研修の開催(法人本部)〈継続〉	150 千円
<ul style="list-style-type: none"> 教職員の広報マインドの醸成等を目的としたスキルアップ研修を実施する。 	

その他主要事業

1. 教育・学生支援

(1) しまね地域マイスター制度に係るゼミナール活動等の支援(浜田C)〈新規〉	420 千円
<ul style="list-style-type: none"> 「しまね地域マイスター」の資格を取得するために履修・修得しなければならない「地域共生演習」において、フィールドワークを行う学生の負担軽減と円滑な活動の実施を図る。 	
(2) 「島根の地域医療」フィールドワークの実施(出雲C)〈継続〉	1,389 千円
<ul style="list-style-type: none"> 2年次生が受講する科目「島根の地域医療」において、離島、中山間地域をはじめとする地域医療の現状を学ぶため、グループ単位でのフィールドワークを実施する。 	
(3) 「おはなしレストラン」事業(松江C)〈継続〉	7,421 千円
<ul style="list-style-type: none"> 絵本の読み聞かせを通じた学生の人間力育成のため、絵本文庫の運営、おはなしシェフの養成及び広く県民を対象とした読み聞かせ活動を実施する。 	
(4) 学生地域ボランティア活動推進事業(全C)〈継続〉	608 千円
<ul style="list-style-type: none"> 学生が地域ボランティア活動等に安心して参加することができるよう、活動中の不測の事態に備えるための保険料を大学が負担するとともに、窓口機能の強化、学生との意見交換会の開催等を行い、学生ボランティア活動の推進を図る。 	

2. 県特殊要因経費補助金事業

(1) 松江キャンパス四年制化準備事業(再掲)	74,743 千円
<ul style="list-style-type: none"> 松江キャンパス既存棟改修基本・実施設計費 … (9,537千円) 四大化準備経費 … (65,206千円) 	
(2) 大規模修繕事業	60,000 千円
<ul style="list-style-type: none"> 電話交換機更新工事(浜田キャンパス) 学生寮外壁等改修工事(出雲キャンパス) 	

3. 旧北東アジア地域学術交流財団(旧NEAR財団)寄附金事業

	40,000 千円
①北東アジア学研究プロジェクト事業	4,350 千円
②共同プロジェクト研究助成事業	6,212 千円
③学術図書出版助成事業	2,000 千円
④研究員等招へい派遣助成事業	1,000 千円
⑤地域貢献プロジェクト助成事業	3,900 千円
⑥国際学術交流事業	5,000 千円
⑦留学生教育支援事業	16,938 千円
⑧国際文化交流促進事業	600 千円